

授業科目名	東洋医学		担当教員	◎南澤 潔、山崎 雄平、 堀江 延和	科目ナンバリング LE435
選択	開講年次：4年後期	単位：1単位	授業形態：演習30時間		

【授業概要】

東洋医学の根本的な考え方、陰陽、気、気の不足または過剰状態とその治療(漢方薬、針灸、指圧など)について学ぶ。

【達成目標】

1. 東洋医学の理念の哲学的起源と歴史的な継承について説明できる。
2. 東洋医学の根本的な考え方、陰陽、気、気の不足または過剰状態について説明できる。
3. 東洋医学における治療法をシミュレーションの形で実践する。(漢方薬、針灸、指圧など)。
4. 東洋医学と看護との共通点について話し合う。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| [01] 東洋医学概論1：そもそも東洋医学とは？漢方とは？ | (南澤) |
| [02] 東洋医学概論2：東洋医学の世界観；陰陽虚実 気血水 五臓 | (南澤) |
| [03] 鍼灸総論：鍼灸あんま指圧マッサージ概論の基礎 | (山崎) |
| [04] 漢方診療の実際 | (南澤) |
| [05] 生薬(漢方薬の中身)について | (堀江) |
| [06] 臨床に役立つ経絡経穴(ツボ)(理論・実技) | (山崎) |
| [07] 漢方薬の実際(漢方体験、漢方薬学) | (南澤) |
| [08] 研究発表：身近な生薬について知ってみる | (堀江) |
| [09] 臨床に役立つマッサージ、経絡経穴(ツボ)(実技) | (山崎) |
| [10] 研究発表：身近な漢方薬について調べてみる | (南澤) |
| [11] 症例演習：実際の症例を元に考えてみる | (南澤) |
| [12] セルフケア(漢方) | (南澤) |
| [13] セルフケア(お灸・ヨガ・ストレッチ)(実技) | (山崎) |
| [14] セルフケア(お灸・パートナーヨガ・ストレッチ)(実技) | (山崎) |
| [15] 討論、発表 東洋医学と看護について | (南澤・山崎) |

【教科書】

指定なし

【参考書】

寺澤捷年(1996)「絵で見る和漢診療学」 医学書院

【評価方法・評価基準】

発表、レポートが各15%×2回、小論文が討論含めて25%、授業への参加態度が3%×15回

【講義のために必要な事前・事後学習】

発表の機会が3回あるので、その際には事前の準備とレポート作成が必要である。

それ以外の講義では特に事前の準備は必要ない。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

発表について授業中にコメントするので、レポートに関しては特にフィードバックは行わない。

【備考】

特になし